

人と地域をつなぐ大学情報誌 CIS NEWS 創刊！
人を思い、地域から思われる大学へ

2023年9月29日
千葉科学大学入試広報部発行

TOPICS

◆関東大震災100年、防災対策、本学の日々の取組

▶ 部外機関との連携訓練等

▶ 大学の防災訓練、実習、プロジェクト研究

▶ 防災に関する講義

今年には関東大震災が発生して100年目となります。
我が国は同地震が発生した9月1日を防災の日と定め、
政府、各自治体、各職場などで防災訓練を行っています。
今回は、本学の防災、災害対策の取組の一端を紹介します。

TAKE
FREE

● 部外機関との連携訓練等

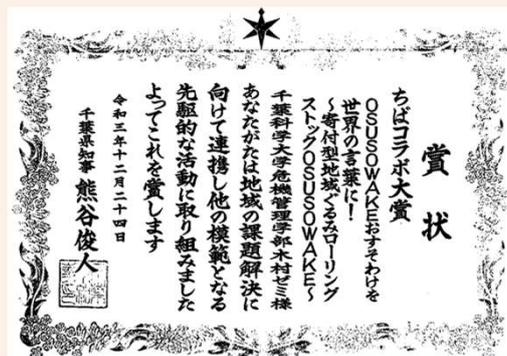
▶ 第44回九都県市合同防災訓練（学生消防隊）

本学の学生は、担当教員の指導の下、政府、県及び市の計画する防災訓練に積極的に参加しています。特に、学生消防隊は九都県市合同防災訓練などの訓練に毎年参加して、その功績が認められ、令和4年度千葉県地域防災力向上知事表彰を受けました。



▶ おすそわけ、県知事表彰受賞（木村ゼミ）

危機管理学科木村ゼミの学生は、銚子円卓会議と連携し、「OSUSOWAKE（おすそわけ）」という災害支援システムを立ち上げました。このシステムは、令和3年度に千葉県知事のコラボ大賞を受賞し、現在順調に活動をしています。



▶ 防災フェア (9/3)

本学の地元銚子市とは、年間をととして各種災害に備えての訓練に参加（土砂災害避難訓練）したり、訓練を支援（防災フェア、津波避難訓練）しています。この特集では、防災フェア（上）、津波避難訓練（下）を紹介します。



▶ 銚子市津波避難訓練 (8/11)



▶ 市民公開講座

地域の方々には、8月29日に市民公開講座「関東大震災から100年～過去から学び、将来に備える～」を行い、防災意識の向上を図りました。



対象・講座名	テーマ・概要	開講日時	担当講師
小(保護者同伴)・中・高生・社会人 看護の科学	16. 看護師の仕事体験してみよう 看護師さん、保健師さん、助産師さんは、どんな仕事をするのかな?看護の仕事を中心に、医療に携わる職業について紹介します。看護の仕事の楽しさ、やりがいなどを伝えたいと思います。	8/27 (日) 11:00～12:00	看護学部 准教授 松岡由美子
高校生・社会人 防災の科学	17. 関東大震災から100年～過去から学び、将来に備える～ 今年、10万超の死者・行方不明者を生じた関東大震災から100年の節目の年です。関東大震災から得られた教訓を学んで、将来の首都直下地震や南海トラフ地震などの自然災害に備えましょう!	LIVE配信と併用 8/29 (火) 10:00～11:00	危機管理理学部 教授 藤本一雄
小学生(保護者同伴)・中学生 洋上風力発電事業	18. SDGsと洋上風力発電 SDGsの17の目標の中には、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や、「気候変動に具体的な対策を」、「海の豊かさを守ろう」といった様々なテーマが掲げられています。銚子市沖で開発が進む洋上風力発電を題材にしながら、再生可能エネルギー事業とSDGsとの関係性について理解を深めていきます。	9/10 (日) 10:00～11:00	三菱商事洋上 風力(株)・ (株)シーテック
社会人 心電図でわかること	19. 心電図でわかること 職場の健康診断や市町村の特定健康診査(特定健診)で、心電図検査を受けたことがあると思います。「心電図検査で何が分かるのだろうか?」と、疑問を持っていますか。臨床検査の視点から、健康診断・特定健診で実施する心電図検査で分かることを解説します。	9/14 (木) 15:00～16:00	危機管理理学部 准教授 木内幸子
小学生(保護者同伴)・中学生 プログラミング技術	20. ドローンに必要なプログラミング技術 ドローンは世界中で利用されており、空撮だけでなく輸送などにも用いられる新時代の技術です。どのように飛行するのかプログラミングの視点から解説します。また、実際にドローンの飛行を体験して学びます。	9/24 (日) 10:00～11:00	危機管理理学部 講師 海老根雅人
社会人 健康の科学	21. 健康に100歳を迎えるために 長生きしたい、いつまでも若々しくありたいというのは私たちの願いです。今日のような少子高齢化社会では、老化の予防こそが重要な課題です。どうしたら老化を遅らせることができるのでしょうか。老化を治療する薬はあるのでしょうか。老化研究の今をご紹介します。	10/4 (水) 15:00～16:00	薬学部 教授 佐々木啓子
小(保護者同伴)・中・高生・社会人 環境の科学	22. SDGs講演～私たちの生活と海洋汚染について～ SDGs目標14に掲げる「海洋・海洋資源の保全」を実現するための対策や現状について解説をした後、海洋汚染の実態を体験する砂浜でのフィールドワークを行います。歩きやすい服装をご用意ください。雨天の場合は室内での講義のみとなります。	10/22 (日) 10:00～11:00	危機管理理学部 准教授 手束聡子
社会人 看護の科学	23. 私の生き方・終い方～自分が大切にしていること(価値)を考えてみましょう～ 近年は老いや死への備えとして自身の終末期医療について意思表示をしておいた方がよいと考えられる人が多くなりました。この講座では、終末期医療の意思決定の根拠となる自身の価値観を見直すための手段であるパリュースヒストリーをご紹介します。	10/27 (金) 15:00～16:00	看護学部 教授 高橋方子
高校生・社会人 災害の心理学	24. 災害時の行動と心理的緊急応急(PFA) 災害時において人間にはどのような反応が多いでしょうか。それらの反応が被害を拡大させてしまうならば、どのように防げるのでしょうか。また、救援者として被災者に対する心理的応急処置(PFA)がどのように行われるのでしょうか。これらの災害における人間の行動について分かりやすく解説します。	11/18 (土) 10:00～11:00	危機管理理学部 教授 王晋民
高校生・社会人 水産資源の現状とこれから	25. 水産資源の現状とこれから 今、世界の海は大きく変わりつつあります。環境変動に加え、過剰な漁獲によって2048年には水産資源が枯渇することが危惧されています。本講座では、いま世界の海で起きている現状と、これからどのように対応すべきかについて、解説します。	11/26 (日) 10:00～11:00	危機管理理学部 准教授 小濱剛
社会人 医薬品の科学	26. 潤いのある毎日のために～安全と安心をお届けします～ 「かおり」で、生活を潤してみませんか?毎日の生活に活用できる「かおり」製品をご一緒に考え、ご自分にあった「香」を作ってみましょう。	11/30 (木) 15:00～16:00	薬学部 教授 久保田洋子
高校生・社会人 災害ボランティア	27. 大学に入ってからできる国際ボランティア 新型コロナウイルス感染症対策が緩和されるとともに海外経験を得ようとする学生さんが増えています。千葉科学大学は、異文化の体験と海外でのボランティア活動を通じ世界で通じる人材を養成しています。多様化とは何かを学びながら、大学で行っている海外活動を紹介します。	12/10 (日) 10:00～11:00	危機管理理学部 講師 五十嵐仁
社会人 健康の眼、病気の眼	28. 健康の眼、病気の眼 人も犬も加齢に伴い眼に色々な病気が出てきます。共に寿命が延びたのが一つの要因かもしれませんが、健康の眼とは?病気の眼とは?加齢に伴いどんな病気があるのか?これらのことをやさしく解説します。	12/14 (木) 15:00～16:00	危機管理理学部 教授 坂芳樹
小(保護者同伴)・中・高生・社会人 救急救命処置	29. 救急救命士の仕事とは? 講義前半で救急救命士について座学で学び、講義後半では救急救命学コースが所有する救急車の見学、救急救命士が行う処置(静脈路確保、気管挿管、心肺蘇生)の体験等を通して、救急救命士について学んで頂きます。※講義に参加の際は動きやすい服装でお越しください。定員は20名です。	12/17 (日) 10:00～11:00	危機管理理学部 助教 飯田涼太

▶ 千葉県議団に対する防災教育

7月3日、千葉県議会議員の有志の方々には、クロスロードゲームを行っていただきました。災害現場では思いもよらないような“決断すべき場面”に遭遇します。このゲームは、そんな決断の「わかれ道」を経験するもので、皆さん真剣に取り組んでいました。

クロスロードゲーム問題例)

あなたは、海辺集落の自主防災組織リーダーです。10分前の地震で津波警報発令。ラジオは40分後で第一波が来襲する危険と報じている。みなで声を掛け合い、10分あまりで高台への避難を完了した。が、一家族4人だけ姿が見当たらない。



No



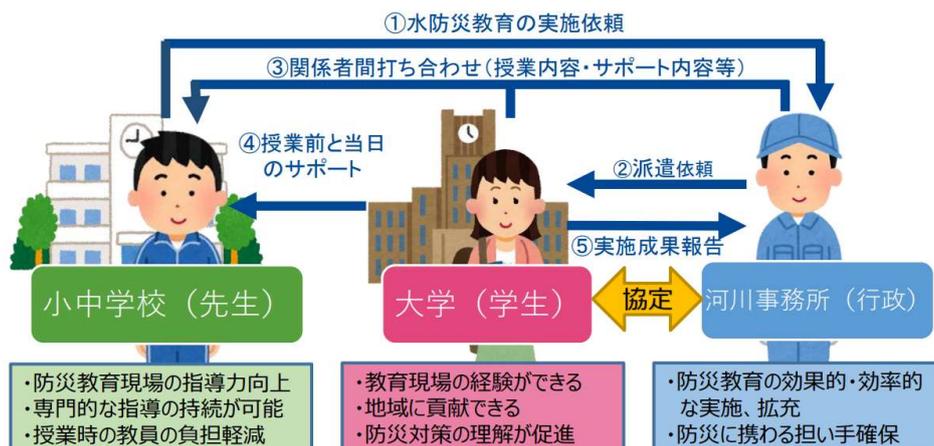
探しに戻る??



▶ 水防災教育推進の連携協力に関する協定

9月22日、新たな取組が始まります。国土交通省利根川下流河川事務所と本学は水防災教育推進の連携協力に関する協定を結びました。利根川下流域の約300校の小学校で行う水防災教育に本学の学生が「支援者（サポーター）」として参加するものです。2学期（9月下旬～10月目途）の小学校の授業から行われる予定です。

▼これから加える新たな推進方法



水防災教育推進の連携協力に関する協定について
https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_00691.pdf

国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所
<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonege/>

●大学の防災訓練、実習、プロジェクト研究

▶学科ごとの津波避難訓練：

東日本大震災時、本学の本部キャンパスは津波による浸水に見舞われました。

このため、すべての学生、教職員に防災行動マニュアルを配付するとともに、地球の丸く見える丘展望館の駐車場を避難場所として指定し、毎年度避難訓練を行っています。

今年度は、学科単位で行いました。写真は危機管理学科、動物危機管理学科、薬学科の学生です。



▶救命救助演習：薬学科

薬学部は、救急・災害薬学などの講義の他、大学が海に面していることから、他学部の協力のもと水難事故を想定した救命訓練や災害時の患者搬入や移送訓練も行なっています。



▶ 地域危機管理看護学実習：災害避難所設置・運営訓練



看護学部は、災害発生時における実習科目として「災害避難所の設置・運営訓練」を行い、被災者の救護、救援活動を円滑に行うことができる能力を高めています。



▶ PJ「教科書には載っていない関東大震災」(藤本ゼミ)



危機管理学科藤本ゼミは、「プロジェクト学習(PJ)」の一環として、関東大震災後の被災地域の復興の様子、記念碑など12のテーマを丹念に調査して「教科書には載っていない 関東大震災の12のこと」をまとめたパネルを作成しました。防災フェアで展示、説明をして、新聞にも掲載されました。

●防災に関する講義

本学は、危機管理の素養を全学生に身につけさせ、実践できることを目指しています。特に災害対策は重視しており、様々な観点から教育を

行っています。危機管理学科の科目が中心となりますが、他の学科も災害対策に関する講義があります。以下講義科目を紹介します。

危機管理学部

- 学部共通・・・救命救助法入門、消防と防災
- 危機管理学科・・・防災教育論、自然災害論、地理情報システム論、災害心理学、市民防災論、災害対策論
- 保健医療学科・・・救急処置総論、救急処置各論、救急・災害医療
- 航空技術危機管理学科・・・自然災害論、気象学
- 動物危機管理学科・・・災害動物看護学、危機管理入門、動物危機管理入門

看護学科

災害看護学、感染看護学、
危機管理看護学演習、
地域危機管理看護学実習

薬学科

救命救助法入門、
救急・災害薬学、
救急・災害時チーム医療演習



特集 学園祭“青澄祭”「涼しい季節にお会いしましょう」

2023年度
青澄祭実行委員の皆様



青澄祭

11/11・12

